

2023年3月18日(土)
復興祈念コンサートを開催
古関裕而記念館
コマツHAPPYMELODY



客席から飛び入りで歌の輪に加わってくれた岩手県立不来方高校音楽部、下関市立熊野小学校合唱クラブのみなさんと



小松と福島 ♪ 歌う交流の軌跡

～福島復興に寄りそって～



石川県小松市にある『コマツHAPPYMELODY』（以下ハピメロ）は日本屈指の実力をもつ児童合唱団だが、歌で東北復興を応援してくれている。2014年から2019年までは新地町の仮設住宅で慰問演奏を、2021年3月20日には、福島市の古関裕而記念館で復興祈念演奏を行い、明るい話題になった。2022年春にも福島での祈念演奏を計画したが、福島県沖地震の影響で果たせなかった。しかしハピメロは諦めず、リモート演奏で歌を届けてくれた上、子どもたちがYouTubeの動画再生や市内で集めた義援金（数万円）を届けてくれた。こうした支援は度重なる地震被害に苦しむ福島県民に希望を届けてくれた。

遠い地の子どもたちからの温かく継続的な支援に感謝するため、2022年5月5日、大熊町の宇宙ヒマワリ（ワンアース主催の東北復興宇宙ミッションで宇宙フライトし、大熊町民の手で育てられているヒマワリ）の種がハピメロに贈呈された。子どもたちが夏休みに育てたヒマワリのレポートは関係者を喜ばせた。2022年12月には小松市でのクリスマスコンサート舞台上で福島からの感謝のメッセージが発表され、そして2023年3月18日、再び福島市・古関裕而記念館での復興祈念コンサートが実現した。このコンサートは多くの観客を集めたが、思いもかけず、客席にいた下関市立熊野小学校合唱クラブや岩手県立不来方高等学校音楽部のメンバーから「一緒に歌おう」と声上がり「いのちの歌」「ふるさと」などを大合唱することになり、記念館は感動の渦に包まれた。子どもたちは「来年もまたここ福島で歌おう」と約束し、それぞれの街へ帰っていった。



一番いい人生を送ろう、のポーズ。3つの地域がひとつの気持ちで復興を応援



下関市立熊野小学校が歌の輪に



名門・不来方高校も歌の輪に参加